

まやかしの外国人技能実習制度

～外国人技能実習生の現状とその支援～

現在日本の各地には、中国やベトナムなどのアジア諸国から19万人の外国人技能実習生が来日し働いています。外国人技能実習制度は「途上国への技術移転」という「国際貢献」を制度の目的と謳っていますが、実際には多くの技能実習生が、使い捨ての安価な労働力として、搾取にさらされています。こうした日本の技能実習制度は、国際社会から「現代の奴隷労働」「人身取引」と批判を受けてきましたが、日本政府は現在、この技能実習制度をさらに拡大する方針をにかけており、関連する法案が国会でも継続審議中です。

今回のセミナーでは、低賃金、長時間労働、中間搾取、セクハラ、強制帰国など、外国人技能実習生が経験する様々な人権侵害の現状について学ぶとともに、カトリック教会として私たちに求められる支援について共に考え、行動していく第一歩にしたいと思います。

プログラム:

- ①「外国人技能実習制度と実習生の実態」
講師: 鳥井 一平
(移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事、
2013年度アメリカ合衆国国務省人身取引と闘うヒーロー賞受賞)
- ②「技能実習生支援のために」
講師: 旗手 明
(自由人権協会理事、移住連運営委員)
- ③討論:
カトリック教会での技能実習生の支援についてほか

★日時: 2016年9月13日(火) 14時～17時

★場所: 日本カトリック会館マレラホール
(東京都江東区潮見2-10-10 JR京葉線潮見駅徒歩5分)

★対象: 難民移住移動者支援にかかわるカトリック関係者

★定員: 60名(先着) ★会費: 1000円

参加ご希望の方は 氏名、ご住所、電話番号、E-mail を FAX または E-mail にて下記にお申し込みください。(別紙申込用紙を添付しております)

8月25日までにお申し込みください
申込先: 日本カトリック難民移住移動者委員会

FAX: 03-5632-7920 E-mail: jcarm@cbcj.catholic.jp

主催: 日本カトリック難民移住移動者委員会

電話: 03-5632-4441

E-mail: jcarm@cbcj.catholic.jp (担当: 吉田)